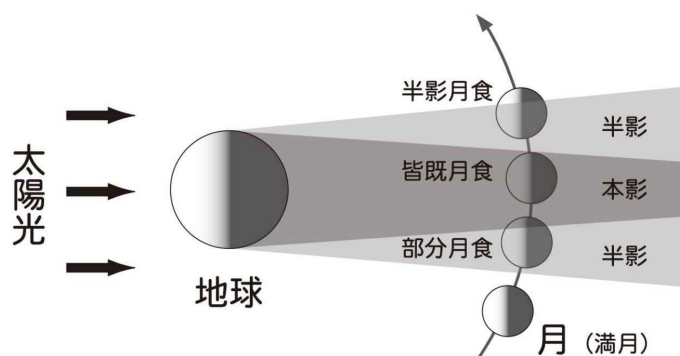


黒石すばるの会 10月8日 皆既月食観測ガイド

■ 月食とは

太陽―地球―月が一直線に並んだとき、地球の影に満月が入り込み、月に太陽の光が当たらなくなります。そのとき、月が欠けて見える現象が「月食」です。10月8日に、満月が完全に地球の影の中に入ってしまう「皆既（かいき）月食」が日本国内では約3年ぶりに観察できます。



月食のおきる仕組み



満月の一部分が欠けて見える月食を「部分月食」といいます。満月全部が地球の影の中に入ってしまう月食が「皆既月食」です。

肉眼では変化がわかりにくいですが、地球のうすい影（半影）の中に月が入り込み、少し暗くなる「半影月食」と呼ばれる現象もあります。

■ 皆既月食中の色あいに注目しよう

地球の影の中を動いていく月は、太陽の光が当たらない部分が欠けて見え、形や色が刻一刻と変化していきます。

そして、完全に影の中に入った皆既食のときには、月は見えなくなってしまふわけではなく、赤銅色（しゃくどうしょく：新品の十円玉の色）の丸い姿になります。この光景はたいへん魅力的で、肉眼でもじゅうぶん楽しむことができます。

地球の影の中でも皆既月食の月が光って見えるのは、地球の空気が太陽の光を曲げるからです。そして、太陽の白い光が地球の空気を通る間に、光が地球の空気やちりに当たって散らばって、赤い光だけ（夕やけと同じ）が月に届くので、月が赤い色になります。

地球の空気の状態によって、月の色が変わるため、毎回、皆既食中の月の色はちがいます。そのため、天文学者や気象学者は皆既月食の月の色を観測するのを、楽しみにしています。

以前、火山が大噴火したときは、火山灰が空気にたくさんふくまれていて、黒っぽい赤色になりました。先日、御嶽山（おんたけさん）が噴火し、色に大きな変化があるかもしれません。



このあと日本で見られる月食

2015年	4月	4日	皆既月食	全国で見られる
2017年	8月	8日	部分月食	最大食分約25% 全国で見られる
2018年	1月	31日	皆既月食	全国で見られる
2018年	7月	28日	皆既月食	皆既中に月が地平線の下にすんでしまう

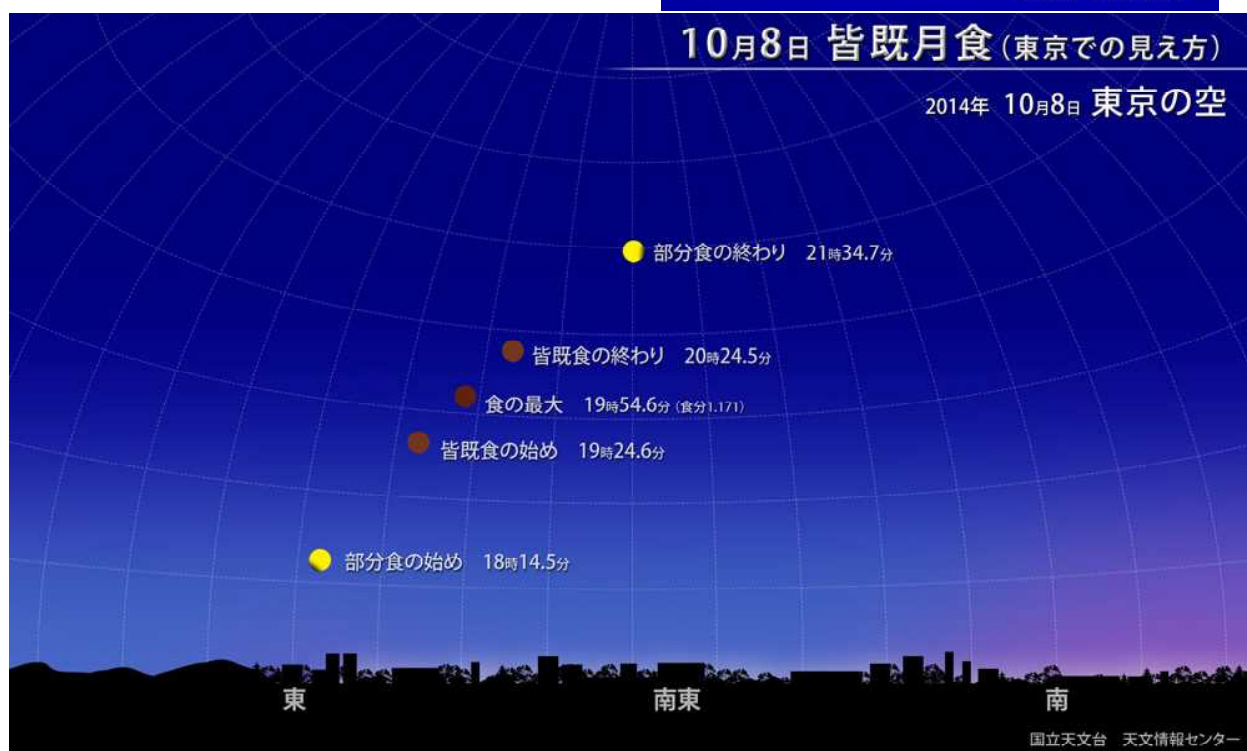
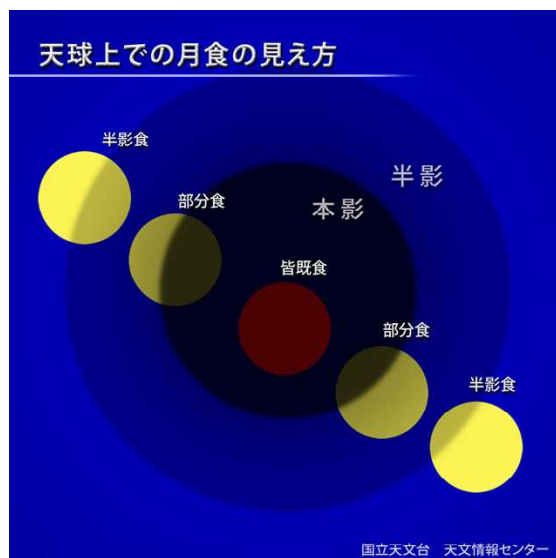
月食は18時14分ごろから21時34分ごろ

■ 皆既月食は19時24分ごろから20時24分ごろ

月食は全世界どこから見ても同時進行でおこります。月食の時間帯に月が地平線上に出ているか、どれだけ高く上っているかは見る場所によって違います。今回の月食は、日本全国どこからでも見やすい時間帯に起こります。

皆既月食の概要（黒石）

月の出	17:00
半影月食の開始	17:14
部分月食の開始	18:14
皆既月食の開始	19:24
食の最大	19:54
皆既月食の終わり	20:24
部分月食の終わり	21:34
半影月食の終わり	22:35



■ 観察は…

夕方、月が東の地平線からのぼってきて、すぐに欠けはじめるので、東の方角が開けた場所が観察に適しています。

黒石すばるの会「月食市民観望会」

日時：10月8日（水）午後7時～午後8時30分

場所：黒石市立黒石小学校 校庭

望遠鏡や双眼鏡で月食を観望しよう。惑星（火星、天王星）も見られます。